

## 令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第17回）

日 時：令和7年7月4日（金）13:30～

場 所：防災センター（201会議室）

### 次 第

1 開 会

2 本部長（知事）挨拶

3 熊本県人吉球磨地域おこし協力隊 紹介

4 議 事

- ・これまでの復旧・復興の実績について
- ・復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデアについて

5 閉 会

## I 「緑の流域治水」の更なる推進による 1日も早い安全・安心の実現

- ◆「緑の流域治水」の推進
- ◆すまい・コミュニティの創造
- ◆災害に強い社会インフラ整備

## II 若者が“残り・集う”産業・雇用の創出

- ◆観光を軸とした創造的復興の実現
- ◆地域の特色を活かした産業活性化と雇用創出
- ◆若者が定着・還流する環境の創造

最後のお一人まで寄り添う取組み  
住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくり

- ◆「住まい」や「なりわい」再建に向けた支援
- ◆地域に必要な医療提供体制の維持・確保

# 令和2年7月豪雨からの新時代共創復興プラン

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等による 更なる創造的復興の実現に向けた取組み

球磨川流域の全国トップクラス減災・防災モデル地域化

治山対策等による緑の流域治水の推進と林業の担い手確保

新たなスタートの土台となる着実な災害復旧

「八代警察署坂本駐在所」再建

被災市町村の個性を活かした行財政運営支援

持続可能な球磨川流域づくりへ

地域の賑わいと観光拠点の創出を目指す

全国に発信する芦北地域の創造的復興

広域連携による人吉球磨地域の課題解決に向けた取組み

球磨川リバーミュージアム構想の取組み

九州自然歩道などを活用した球磨川流域の自然公園の魅力度アップ

地域経済の振興と人材確保

球磨川流域独自のコンテンツや地域資源を活かした観光誘客

農地・農業用地施設の災害復旧と生産基盤整備の推進

県南地域における「食のみやこ」の創造

球磨川の流れを活かした新規小水力発電所の開発可能性調査

球磨川流域市町村の豊かな恵みを生かした魅力あふれる学校づくり

加速化  
連携  
地域の再生  
・  
発展

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくり

全ての被災事業者の事業再建支援

- これまでの復旧・復興の実績
- 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

令和7年（2025年）7月4日

熊本県

～「緑の流域治水」推進による1日も早い安全・安心の実現～

【 知事公室・健康福祉部 】

## 球磨川流域の全国トップクラス防災・減災モデル地域化

### 発災直後の状況及び発災後の取組み



- ・ 毎年の「豪雨対応訓練」で流域市町村等の災害対応力を強化  
(県と流域市町村等合同)
- ・ 戸別受信機の全戸配布  
(配布希望のある全戸)
- ・ ハザードマップ《L2相当》の作成・公表  
(全流域市町村等)
- ・ 防災士、自主防災組織等向け研修会開催



### これまでの取組み及び5年後の状況



- ・ 避難所開設訓練の実施 (R6年度)  
避難所299カ所のうち46カ所で実施
- ・ 避難所の環境改善 (避難所運営マニュアル)  
(R2 8市町村→R6 13市町村)  
能登半島地震後の新たな課題への対応が必要
- ・ 民間事業者による通信ネットワークの現状  
復旧完了。地理的脆弱性への対応が必要
- ・ 地域防災マネージャー (防災監) 等の増加  
(R2 3市町村 3人→R6 6市町村 6人)
- ・ 防災士登録者の増加  
(R2 325人→R6 602人)
- ・ 防災士アドバイザーの創設 (R4年度)  
(R6 4市町村7人登録)

※防災・減災の取組みは着実に進むも更なる充実が必要

### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

方向性①：いつ起こるか分からない災害への備えは待ったなし【避難所環境改善、防災DX】

避難所開設訓練  
(全流域市町村等で実施)

避難所環境改善  
(全流域市町村等で48h以内にベッド・プライバシーを確保)

衛星ブロードバンドインターネットサービス  
(全流域市町村等+振興局に設置 ※0箇所→14箇所)

地域防災マネージャー等  
(全流域市町村等で採用)

防災士登録者数  
(全流域市町村等で防災士数を倍増)  
(若年者への防災講座の重点化)

防災士アドバイザー  
(全流域市町村等で登録/活用)

全国トップクラスの防災・減災モデル地域化  
「防災・減災の先進地」

方向性②：記憶の風化/職員の入替りによる「ノウハウ」の消失リスクへの対応【専門人材、官民連携】

～「緑の流域治水」推進による1日も早い安全・安心の実現～

## 治山対策等による緑の流域治水の推進と林業の担い手確保

【 農林水産部 】

### 発災直後の状況及び発災後の取組み

- 既設治山ダムの復旧及び異常堆積した土砂・流木の撤去
- 緊急に復旧すべき山地崩壊箇所における治山対策の実施



緊急治山事業：人吉市木地屋町（発災時）

<復旧事業の進捗状況(R7.4月末時点)>

| 事業名            | 進捗状況          | 完了時期       |
|----------------|---------------|------------|
| 治山施設災害復旧事業     | 9/16箇所(56%)   | 令和8年度完了見込み |
| 単県治山事業（県営）     | 17/17箇所(100%) | 全箇所完了      |
| 災害関連緊急治山事業     | 67/67箇所(100%) | 全箇所完了      |
| 治山激甚災害対策特別緊急事業 | 37/89箇所(42%)  | 令和8年度完了見込み |

### これまでの取組み及び5年後の状況

- 既設治山ダムの復旧及び山腹崩壊箇所における治山対策の継続実施
- 「球磨南部」「五木」「五家荘」の3地区で、森林域からの土砂・流木の流出抑制対策を実施（流域保全総合治山事業）
- 山地災害危険地区のパトロール及び小学生に対する防災教育の実施
- 再造林面積拡大に対する支援（R2再造林:394ha ⇒ R5再造林:507ha）
- 林地保全に配慮した林業の推進に向けた林業事業体への研修会等の実施（架線系集材の普及等）

緊急治山事業：人吉市木地屋町（完了後）



架線系集材の実施状況



### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

#### ○林業の担い手確保に向けたくまもと林業大学校県南校（五木村）の機能拡充

[地域の抱える課題]

- ・「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を進めていくうえで、林業従事者の確保が喫緊の課題となっており、林業に必要な技術と現場力を身に付けた即戦力となる人材育成が急務。
- ・また、林業大学校については、他産業との人材獲得競争の激化等の影響により、今後、入校者の確保が困難となることが予想されることから、森林資源が豊富で県内屈指の林業地域を拠点とする県南校の機能を拡充し「選ばれる林業大学校」となることが必要。

[期待される効果]

- ・林業大学校の機能拡充により、次世代をリードする担い手を確保・育成することにより、本県の林業振興を推進。

#### ○CO<sub>2</sub>削減に資するJークレジットの取得・販売促進に向けた支援の実施

[地域の抱える課題]

- ・適切に整備等がなされた森林によるCO<sub>2</sub>吸収量等をクレジットとして認証、販売する政府の「Jークレジット制度」について、制度の専門性が高いことなどから、初めてクレジット取得に取り組もうとする者にとってはハードルが高い状況。

[期待される効果]

- ・企業等へのクレジットの販売が進むことにより2050年カーボンニュートラルの実現に資するほか、その収入を森林整備に充てることにより、球磨川流域の主要産業である林業の活性化や、緑の流域治水の推進等が期待される。

<クレジット取得に向けた県による支援等実績(R7.4月末時点)>

| 支援者数<br>(うち球磨川流域) | これまでのクレジット取得量<br>(うち球磨川流域)                          |
|-------------------|-----------------------------------------------------|
| 17者<br>(6者)       | 9,087t-CO <sub>2</sub><br>(8,257t-CO <sub>2</sub> ) |



Jークレジット協定締結式  
(文京区・五木村・熊本県)



# ～「緑の流域治水」推進による1日も早い安全・安心の実現～ 新たなスタートの土台となる着実な災害復旧

【土木部】

## 発災直後の状況及び発災後の取組み

### 【発災直後の状況】



### 【早期復旧に向けた取組み】

（令和3年3月2日 第6回本部会議報告資料）

#### ○災害復旧事業

- ・7月豪雨で被災した公共土木施設に関する事業査定により3,620箇所、812億円の災害復旧事業が決定された（令和3年1月22日）

#### ○早期執行に向けた関係者の連携強化

- ・国、県、市町村、建設業関係団体で構成する「7月豪雨等復旧・復興工事情報連絡会議」を設置

#### ○熊本地震の経験を踏まえた迅速な対応

- ・入札制度の見直し（指名競争入札の緩和（土木一式工事、舗装工事、法面工事））
- ・復興係数・復興歩掛の導入（一部見直した上で継続）

## これまでの取組み及び5年後の状況

### 【「緑の流域治水」の推進】

#### ○「流域治水プロジェクト」「河川整備計画」の推進・情報発信

|            | 現在          | 完了時期       |
|------------|-------------|------------|
| 県管理河川施設の復旧 | 377/394箇所完了 | R8年度中完了見込み |
| 砂防施設の復旧・整備 | 261/277箇所完了 | R8年度中完了見込み |



- ・砂防・河川・治山事業が連携し、流域全体で土砂・洪水氾濫対策を推進

- ・川辺川の県管理区間の河川整備について、R17年度の流水型ダム完成までを目指し、集中的に取り組む

### 【災害に強い社会インフラ整備】

#### ○国道219号等、球磨川に架かる橋梁等の早期復旧

|            | 現在                          | 完了時期      |
|------------|-----------------------------|-----------|
| 国道219号等の復旧 | 本復旧工事推進中<br>※一部区間でかさ上げ工事推進中 | 早期完了に向け推進 |
| 県南地域道路復旧   | 890/938箇所完了                 |           |
| 橋梁の復旧      | 残る8橋の復旧工事推進中<br>2/10橋完成     |           |



#### ○道路のリダンダンシー確保



- ・国道219号については、国・県・市町村が連携して道路護岸の復旧や嵩上げなど本復旧工事を推進中であり、八代市内から坂本橋間が令和7年度開通予定

- ・流失した橋梁10橋のうち、R5年2月に西瀬橋、R7年3月に沖鶴橋が完成。残り8橋について上部工工事を推進中であり、坂本橋、松本橋、天狗橋が令和7年度開通予定

- ・災害に強い、命の道・通学の道としてリダンダンシーを確保
- ・「迅速かつ確かな避難」と「被害の最小化」を図る取組みを支援

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

### 【迅速・着実な復旧、地域に寄り添う整備】

- ・土木部が担うインフラ整備は、地域住民の生活基盤を支えるものであり、復興への新たなスタートを切るためにも、引き続き、迅速かつ着実な復旧、地域の声に寄り添った緑の流域治水の推進に取り組む。
- ・ふるさとの魅力あふれるまちづくりとコミュニティの形成に取り組む。
- ・復興への希望を示し、地域住民の安心した暮らしやそれぞれの未来への歩みを後押しできるよう、ハード・ソフト含めた復旧・復興状況の見える化の強化に取り組んでいく。

### 【各施策、多様な主体との連携】

- ・日々の暮らしに加え、観光振興や産業振興にも資する道路ネットワークの強化や地域住民と共に進める拠点整備など、復興に向けた様々な施策がより効果を発揮するよう、あらゆる関係者と連携するとともに、計画的かつ効率的な整備を進める。

球磨村における集落再生に向けた取組



人吉市復興まちづくり計画（青井地区イメージ）



## 【すまい・コミュニティの創造】

### ○安全・安心な住まいの確保となりわいの再建

|           | 現在                        |  |
|-----------|---------------------------|--|
| 災害公営住宅等整備 | 完成：11地区272戸               |  |
|           | 工事中：1地区10戸<br>※R7年度中完了見込み |  |

|              | 現在                          |   |
|--------------|-----------------------------|---|
| 公民館型みんなの家の整備 | 完成：8棟<br>着工前：1棟（R7年度中完成見込み） | 3 |
|              |                             |   |

- ・被災した公民館に替わる地域住民の交流の場として整備

# ～「緑の流域治水」推進による1日も早い安全・安心の実現～ 「八代警察署坂本駐在所」再建

【 警察本部 】

## 発災直後の状況及び発災後の取組み



- ・ 坂本駐在所は、球磨川の氾濫により、天井まで浸水する被害
- ・ 地域の治安維持のため、令和2年11月、現地にプレハブを設置し、仮設駐在所の運用を開始
- ・ 令和5年6月、新たな八代市坂本支所一帯の造成工事に伴い、プレハブを解体し、隣接する川岳駐在所を拠点として運用を継続



## これまでの取組み及び5年後の状況



- ・ 他の公共施設、生活サービス施設を集約化した新たな八代市坂本支所と同敷地に「八代警察署坂本駐在所（仮称）」の再建が決定
- ・ 令和6年度、駐在所新築工事の設計を完了
- ・ 令和8年度の運用開始を目標として、令和7年度中に、駐在所の新築工事を完了する予定

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

地域住民にとって最も身近な警察施設である駐在所の機能を最大限発揮し、

- ・ 巡回連絡による地域住民への防犯情報等の提供及び意見要望の聴取
- ・ 管轄区域の治安情勢等に応じたパトロール活動
- ・ 駐在所連絡協議会による地域住民の意見要望の把握と協議等を推進し、地域住民の生命・財産を守り安全・安心を確保する。

「地域に密着し、地域住民と共に地域の安全・安心を創り出す」



～最後のお一人まで寄り添う～

## 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくり

【健康福祉部】

### 発災直後の状況及び発災後の取組み



- ・安全・安心な住まいの確保（仮設入居ピーク時1,814世帯）
- ・コロナ禍における避難所の運営
- ・避難所運営マニュアルを未策定の市町村あり（R2.3：球磨地域で5/10市町村）
- ・7市町村で地域支え合いセンターを設置



### これまでの取組み及び5年後の状況



- ・最後のお一人まで寄り添った支援を継続（R7.6末：仮設入居27世帯）
- ・木造仮設住宅利活用の推進（R7.5末：366戸）
- ・避難所はR3.1までに閉鎖
- ・避難所運営マニュアルは全市町村で策定
- ・地域支え合いセンターを3市町村で継続。住まいの再建後も必要な見守りを実施

⇒ 一方、流域市町村の多くで65歳以上の割合が4割を超えており、医療体制や高齢者の孤立など、課題は残っている状況

### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

- ・新たな災害に備えた体制の強化  
〔県内トップクラスの避難所環境の整備（能登半島地震後の新たな課題への対応（48h以内のベッド・プライバシー確保等））〕
- ・地域の新しいコミュニティ構築を推進  
〔各地域で気軽に集える通いの場開催の支援や、市町村と協力した認知症当事者同士が語り合うイベントの開催など〕
- ・「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」事業を活用した医療機関開設に当たっての支援を実施



～最後のお一人まで寄り添う～

【 商工労働部 】

## 全ての被災事業者の事業再建支援

### 発災直後の状況及び発災後の取組み

「なりわい再建支援補助金」による被災事業者の施設・設備の復旧を支援



「一富士旅館」(人吉市)の被災状況

### これまでの取組み及び5年後の状況

- ・ 補助金の申請件数 518件 (予定の7件を含む)
- ・ 補助金の交付決定 511件
- ・ 復旧完了 504件 (完了率97.3%)

※令和7年3月末時点



「一富士旅館」(人吉市)の復旧状況

### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

- ・ 「なりわい再建支援補助金」の活用を希望される被災事業者全ての復旧が完了するまで、本補助金を継続
- ・ 被災事業者の売上回復に向け、販路拡大や生産性向上の取組みを支援する「くまもと型小規模事業者経営発展支援補助金」や、個々の課題に応じた専門家の派遣により、経営の改善や向上を後押し

⇒ 事業の再建・発展を支援し、被災地域における持続可能な地域経済を確立

# ～未来に夢を持てる地域を“共に創る”～

## 被災市町村の個性を活かした持続的な行財政運営支援

【 総務部 】

### 発災直後の状況及び発災後の取組み

#### 【短期職員派遣】

被災市町村からの要請を受け、主に避難所運営や罹災証明書の交付など、発災直後の災害応急業務に従事するための短期派遣として、被災7市町村に対し、県、県内市町村、他都道府県から延べ12,346人の職員を派遣。

| 短期派遣実績                           |              | R2年度    | 内訳（派遣元別）※1、2 |        |        |
|----------------------------------|--------------|---------|--------------|--------|--------|
|                                  |              |         | 総務省<br>システム  | 県内市町村  | 熊本県    |
| 合計                               |              | 12,346人 | 6,313人       | 3,293人 | 2,740人 |
| 業務別                              | 行政体制支援       | 1,763人  | 443人         | 0人     | 1,320人 |
|                                  | 情報連絡員（LO）    | 156人    | 15人          | 0人     | 141人   |
|                                  | 避難所支援        | 4,444人  | 3,119人       | 524人   | 801人   |
|                                  | 罹災証明関係       | 3,042人  | 1,948人       | 913人   | 181人   |
|                                  | 災害ごみ処理       | 1,294人  | 168人         | 909人   | 217人   |
|                                  | その他 ※3       | 1,647人  | 620人         | 947人   | 80人    |
|                                  | 派遣先<br>被災市町村 |         | 7市町村         |        |        |
| 八代市、芦北町、津奈木町、<br>人吉市、相良村、球磨村、山江村 |              |         |              |        |        |

※1 総務省被災市区町村応援職員確保システム、熊本県、熊本県市長会・町村会による短期派遣の職員数を計上。

※2 保健師派遣は含まない。

※3 その他：被災者相談窓口支援業務、公費解体関係業務、支援物資受付事務、地域包括支援業務、生活再建窓口業務など。

### これまでの取組み及び5年後の状況

#### 【中長期職員派遣】

・災害復旧事業に係る設計・施工管理や土地区画整理事業における換地業務など、復旧・復興業務に従事するための中長期派遣としてR2～R7年度の間に延べ219人の派遣。  
・被災市町村の復旧・復興の進展に伴い、派遣数は減少。

| 中長期派遣実績 ※   |          | R2                                              | R3                                      | R4                               | R5                                             | R6                                      | R7                       |
|-------------|----------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------|
| 合計          |          | 61                                              | 60                                      | 43                               | 29                                             | 20                                      |                          |
| (うち熊本県)     |          | 0                                               | 0                                       | 0                                | 3                                              | 3                                       |                          |
| 職<br>種<br>別 | 土木       | 23                                              | 20                                      | 15                               | 10                                             | 7                                       |                          |
|             | 建築       | 6                                               | 5                                       | 4                                | 4                                              | 5                                       | -                        |
|             | 農業土木     | 10                                              | 10                                      | 7                                | 6                                              | 2                                       | -                        |
|             | 林業       | 3                                               | 5                                       | 5                                | 4                                              | 3                                       |                          |
|             | その他      | -                                               | 1                                       | 1                                | -                                              | -                                       | -                        |
|             | 一般事務     | 19                                              | 19                                      | 11                               | 5                                              | 3                                       |                          |
|             | 派遣先被災市町村 | 6市町村<br>八代市<br>人吉市<br>芦北町<br>津奈木町<br>相良村<br>球磨村 | 5市町村<br>八代市<br>人吉市<br>芦北町<br>山江村<br>球磨村 | 4市町村<br>八代市<br>人吉市<br>芦北町<br>球磨村 | 6市町村<br>八代市<br>人吉市<br>芦北町<br>五木村<br>山江村<br>球磨村 | 5市町村<br>人吉市<br>芦北町<br>五木村<br>山江村<br>球磨村 | 3市村<br>人吉市<br>五木村<br>球磨村 |

#### 【熊本県独自の災害派遣】

・熊本県からの災害派遣として、首長の補佐やマネジメントの支援のため、R2～R7年度の間に延べ38人の派遣。  
・R7年度は球磨村へ政策審議監と建設課課長補佐の2名を派遣。  
・被災市町村の復旧・復興の進展に伴い、派遣数は減少。

| 災害派遣<br>実績   |      | R2                | R3                | R4                | R5                | R6                | R7        |
|--------------|------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------|
| 合計           |      | 9                 | 9                 | 7                 | 7                 | 4                 |           |
| 職<br>種<br>別  | 一般事務 | 9                 | 9                 | 6                 | 6                 | 4                 |           |
|              | 土木   |                   |                   | 1                 | 1                 |                   |           |
| 派遣先<br>被災市町村 |      | 2市村<br>人吉市<br>球磨村 | 2市村<br>人吉市<br>球磨村 | 2市村<br>人吉市<br>球磨村 | 2市村<br>人吉市<br>球磨村 | 2市村<br>人吉市<br>球磨村 | 1村<br>球磨村 |

※県内市町村、都道府県、九州地方知事会、全国市長会、全国町村会からの任意の派遣及び総務省の復旧・復興支援技術職員派遣制度による中長期派遣の職員数を計上。

### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

#### ○それぞれの市町村が、個性を活かし持続的な行財政運営が可能となるような支援を球磨地域振興局と連携して実施

① 人吉・球磨市町村の行財政運営上の課題解決に向けて、広域的かつモデル的な取組みを提案・支援

→人吉・球磨地域で具体的な検討を開始・展開

※具体的な検討例

○職員確保に向けた職員の共同採用方式の導入

○地域の課題と取り組むべき方向性を明らかにするために必要な、人吉球磨全市町村における地域資源等のデータ・将来見込（地域の未来予測）の作成・運用 等

②人吉・球磨市町村によるふるさと納税の活用最大化に向けた共通返礼品の開発等の広域的な取組みを支援

→県のふるさと納税に係るノウハウや資源を活用

（参考）振興局との役割分担

※具体的な取組み例

○観光・体験型の新たな返礼品の創設支援（観光クーポン等）

○県のふるさと納税特設ページで人吉球磨地域を重点PR 等

|             | ① | ② |
|-------------|---|---|
| 市町村課<br>税務課 | ◎ | ○ |
| 振興局         | ○ | ◎ |

# ～未来に夢を持てる地域を“共に創る”～ 持続可能な球磨川流域づくりへ

【 企画振興部 】

## 発災直後の状況及び発災後の取組み



- ・ J R 肥薩線の八代～吉松間で450か所が被災。
- ・ くま川鉄道においても人吉温泉～肥後西村間が被災。
- ・ 相良村のインターネット光回線は公設公営であるため、復旧に時間を要した。
- ・ 被災市町村では、地域の担い手確保のひとつとして、「地域おこし協力隊」を積極的に採用。

## これまでの取組み及び5年後の状況



- ・ 国・地元市町村・J R九州とともに検討を重ね、J R九州との間で鉄道でのJ R 肥薩線復旧（八代～人吉間）について最終合意（R7.3.31）。
- ・ 肥後西村～湯前駅間でくま川鉄道が部分運行再開（R3.11.28）。
- ・ 令和6年度に相良村と協議し、情報通信基盤整備の補助制度を創設。新たな光回線整備後の令和9年度から民設民営化。
- ・ 単独市町村での募集活動では、十分に情報発信が出来ず、募集をしても応募がない自治体も。

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

- ・ 流域市町村とともに策定した「J R 肥薩線復興アクションプラン」に基づき、人吉駅周辺の整備や新たな旅行商品造成等による観光利用の促進及びマイレール意識の醸成による日常利用の促進の双方の取組みを「球磨川リバーミュージアム」と連携しながら推進。
- ・ くま川鉄道においては、国の補助制度を活用し、令和8年度上半期の全線運行再開を目指す。
- ・ 相良村においては光回線での設備更新に伴う速度向上により、オンライン診療や遠隔授業の実施、移住定住の促進、企業誘致等の後押しとなることが期待される。さらに、民設民営化に伴い、災害時の早期復旧が見込まれる。
- ・ 県が被災市町村と連携し、県南地域を対象とした「地域おこし協力隊」の合同募集イベントを都市圏で開催するなど、地域の担い手確保の取組みを継続的に実施していく。



～未来に夢を持てる地域を“共に創る”～

## 球磨川リバーミュージアム構想の取組み

【 球磨川流域復興局 】

### 発災直後の状況及び発災後の取組み



緑の流域治水のイメージ



人吉市での被害の様子

令和2年7月豪雨により球磨川流域では甚大な被害が発生

⇒流域の安全・安心の実現に向けて国・県・市町村が一体となって、「緑の流域治水」を推進

観光施設や旅館等も大きな影響を受け、観光客が大幅に減少

⇒各市町村で復興計画等を策定し地域経済の復興に向けた取組みを推進

### これまでの取組み及び5年後の状況



球磨村観光案内人の会



川辺川魅力創造事業

#### 【災害を忘れない取組み】

安全・安心の実現に向けインフラ等の復旧事業は着実に進捗  
次の災害に備え、豪雨の経験や教訓を後世に伝承する取組みが始動

#### 【川の恵みを活かした取組み】

球磨川や川辺川等を活かした取組みが始動。併せて、ＪＲ肥薩線の復旧に係る最終合意がなされ、アクションプランの取組みが推進されるなど、観光復興に向けた取組みが本格化

### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

#### 流域の取組みのブランド化

“川とともに生きる”流域の情景を「球磨川リバーミュージアム」とし、様々な人が集まり、**新しい発見・新しい価値が生まれる場所を創出する**。そのために、流域で行われている国・県・市町村等の“川の恵みを活かした取組み”と“災害を忘れない取組み”を有機的に連携させ、一体的に活用・発信する仕組みを作る。

【R7年度取組予定】構想の策定、ランディングページ等の検討、ロゴマーク作成、看板デザインの作成、キックオフフォーラムの開催 等

#### 流域の諸課題への対応

上記取組みをスタートとしながら、くま川鉄道やＪＲ肥薩線の復旧、インフラツーリズムなどと共働することで、地域が抱えるあらゆる諸課題の解決に向けて効果を波及させ、豪雨復興の先進モデルとなる地域を目指す。



～未来に夢を持てる地域を“共に創る”～

# 九州自然歩道などを活用した球磨川流域の自然公園の魅力度アップ

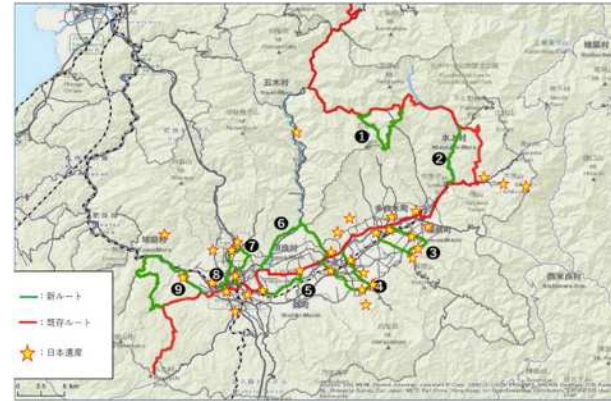
## 発災直後の状況及び発災後の取組み



### 〈発災後の取組み〉

- ・バス等の公共交通機関と九州自然歩道との連絡がスムーズになるよう路線を見直した。
- ・案内標識、指導標等の歩道付帯施設の大半が耐用年数を超過し、老朽化が進んでいたことから、歩道付帯施設の改修・補修を行った。

## これまでの取組み及び5年後の状況

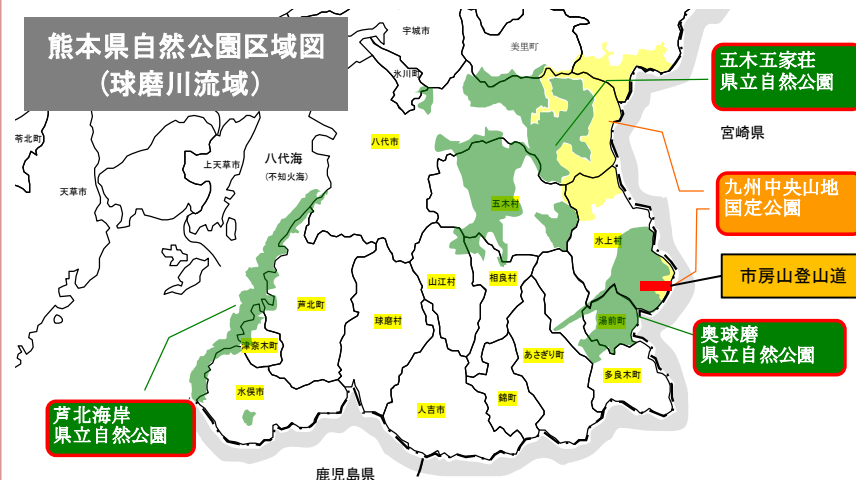


- ・人吉市、錦町、多良木町、湯前町、相良村、五木村、あさぎり町で指導標等の改修や撤去を実施。

改修：18カ所  
撤去：2カ所

- ・路線の魅力向上のため「日本遺産人吉球磨」等と連携した新ルートを9つ設定。
- ・ポータルサイト、デジタルマップ作成

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等



- ・球磨地域には自然公園が4つ(国定1、県立3)指定されている。
- ・そのうち、九州中央山地国定公園内にあり、日本遺産人吉球磨(市房山中宮神宮など)と連携している市房山登山道の補修を令和7年度から重点的に実施していく。
- ・球磨川流域復興局(球磨川リバーミュージアム構想)と連携を図りながら取り組む。

# 地域経済の振興と人材確保

## 発災直後の状況及び発災後の取組み



### ①人吉・球磨地域復興支援人材確保ワンストップ就労相談窓口の設置

### ②被災蔵元の復旧支援

### ③球磨川流域復興枠の創設（熊本県企業立地促進補助金）R3.3.1施行



## これまでの取組み及び5年後の状況

### ①人吉・球磨地域復興支援人材確保ワンストップ就労相談窓口の設置

- ・中学・高校等での出前講座や動画・ガイドブック等を通じ、地元就職のメリットや地元企業の魅力をPR
- ・県南地域の企業へブライト企業認定制度を周知し、申請を促進。
- ・県南地域の合同企業説明会を開催

### ②被災蔵元の復旧支援

- ・製造現場の衛生環境の改善
- ・優良菌株を活用した新商品開発支援
- ・微生物のBCP策定の支援等
- ・支援した4社が製造を再開し約20商品が復活
- ・大和一酒造元、岩永醤油は新商品を開発
- ・釜田醸造所はR3.4全国醤油品評会で優秀賞を受賞

動画周知用ポスター



### ③球磨川流域復興枠の創設（熊本県企業立地促進補助金）R3.3.1施行

- ・復興枠での立地協定締結実績は11件
- ・人吉・球磨地域にマッチするIT企業等の掘り起こし3件及び視察ツアーの実施
- ・市町村が整備するサテライトオフィス等に対する助成実績は4件

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

### ①事業継続支援と人材確保

- ・事業承継や後継ぎ支援を実施
- ・地域の企業の人材確保を支援する地域人材確保支援員の配置（県北：1名、県南：1名、球磨局：1名（週に3日））
- ・女性の就労機会の創出及び女性が働きやすい環境づくりを後押しする「女性の県内就労応援事業」を実施

### ②球磨焼酎等の更なる販路拡大

- ・球磨焼酎のトップブランド化推進のための東京、大阪、福岡などの都市圏でのプロモーションの実施や蔵元のコンペ出展等を支援
- ・有用微生物を活用した新商品の開発支援と雑菌汚染に強い微生物の開発

### ③県南地域への企業誘致

- ・企業の人材確保に向けた環境整備に要する経費の助成
- ・高校生を対象としたインターンシップや見学ツアーの実施
- ・東京ゲームショウ等における県南地域の魅力発信の支援及びサテライトオフィス等を活用した企業研修の実施



サテライトオフィス



11

大和一酒造元ホームページより

# 球磨川流域独自のコンテンツや地域資源を活かした観光誘客

## 発災直後の状況及び発災後の取組み



### <発災直後の状況>

- ・ 人吉温泉観光協会が把握する宿泊施設37施設のうち26施設が被災。
- ・ また、観光資源である球磨川くだりやラフティングも営業を中止するなど、観光事業者は大きなダメージを受けた。



### <発災後の取組み>

- ・ なりわい補助金を活用した早期の企業再建の支援。
- ・ 観光関連事業者、市町村等を構成員とする「観光復興会議」を開催し、『人吉球磨豪雨被災地観光復興戦略』を策定。
- ・ 関係団体等と連携した観光地域づくり、観光誘客など各地域の現状を踏まえた支援の実施。

## これまでの取組み及び5年後の状況



### <5年後の状況>

- ・ 令和6年度には再開を目指したすべての宿泊施設が営業を再開。(35施設)
- ・ また、球磨川くだりが、令和4年7月に運航を再開するなど観光関連事業については概ね再開。



### <これまでの取組み>

- ・ アニメ「夏目友人帳」をはじめとする地域ゆかりのコンテンツを活用した誘客に向けた商品造成や市町村の取組みの支援。
  - ・ 豪雨被災地域を対象とする旅行助成や交通機関の利用を組み込んだ旅行商品等への助成を実施。
- ⇒ 被災地域の更なる魅力創造と観光誘客等を促進。

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

- ・ 豪雨災害以降、観光復興の中核的役割を担ってきたアニメ「夏目友人帳」のブランド力の活用とともに、国内外で人気の高い「くまモン」をクロスオーバーさせた取組みを推進

[新たな集客スポットの形成] 夏目友人帳とくまモンをテーマにしたまちなみの形成

【例：くまモンst・ニャンコst】

※くまモンstは、熊本の飲食や物産等が販売されている通りを指定し、道路舗装、景観共にくまモンカラー（黒・赤・白）で統一。熊本の今をPR

※ニャンコstは、昔ながらの里山、レトロなイメージが残る通りを指定し、思わず、登場人物と出くわしそうなシチュエーションを演出（動きのついたキャラ像、メロディーロード、夏目貴志の部屋等）

また、影絵プロジェクトについては、今後新たに追加するものは、当該通りに集中

[くまモン・夏目友人帳をフックとしたサービス開発]

- ・ 上記スポットへの誘客力、経済効果を高めるため、ご当地グルメ（キャラスイーツ等）や地域の歴史文化等に根差した各種体験メニュー（刃物打ち体験・青井阿蘇神社特別参拝・球磨神楽体験・サイクルツーリズム）の開発とともに、受付ポイントを上記まちなみに集約することで、誘客力・発信力を強化

©緑川ゆき・白泉社/「夏目友人帳」製作委員会  
©2010熊本県くまモン



## 発災直後の状況及び発災後の取組み

### <発災直後の課題>

- ・営農再開に向けた早期復旧
- ・被災市町村技術職員などのマンパワー不足
- ・災害復旧工事の不調・不落の対応

### <発災後の取組み>

- 国、県、土地改良連合会による被災調査の支援
- 多面的機能支払交付金を活用した自力復旧の支援

<復旧事業の進捗状況(R7.6月末時点)>

|                | 進捗状況               | 完了時期            |
|----------------|--------------------|-----------------|
| 県営<br>災害復旧事業   | 27/28箇所<br>(96%)   | 令和10年度<br>完了見込み |
| 市町村営<br>災害復旧事業 | 786/828箇所<br>(95%) | 令和7年度<br>完了見込み  |



芦北町宮浦地区（災害復旧前）

## これまでの取組み及び5年後の状況

○県営、市町村営災害復旧事業の進捗は95%以上

### <課題解決に向けた取組み>

- ・市町村へ技術職員の応援派遣、県営事業による災害復旧の実施
- ・建設関係団体との意見交換、市町村が行う復旧工事の発注規模拡大や、発注時期の平準化

○緑の流域治水推進に向けた田んぼダムの普及拡大を図り、球磨管内で652haの取組み面積まで拡大



芦北町宮浦地区（災害復旧後）



田んぼダムマイスター研修会(R7.2)

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

○災害からの創造的復興（農業生産基盤整備）による新規作物の導入と田んぼダムの推進  
【芦北東部地区】

### [地域の抱える課題]

- ・令和2年及び令和4年の度重なる豪雨災害により、河川が氾濫し、周囲の大部分の農地が被災。営農継続に支障があり、地元農家の離農の可能性。
- ・被災前の水田は小規模な団地となっており、傾斜地で未整備な水田が多く、非効率な営農を強いられているほか、鳥獣被害も増加傾向にあり厳しい生産環境から農地の集積もままならない状況。
- ・このことから、営農環境等の改善を目指し、令和6年度から県営事業による農業生産基盤整備事業に着手。

### [期待される効果]

- ・ほ場整備の実施により、農作業や水管理における労力節減等、生産性が向上するほか、担い手への農地集積を促進。また、「湖池屋」の九州初となる加工工場が完成したことを契機として加工用ばれいしょの試験栽培にも取り組んでおり、地域ブランドである「サラダ玉ねぎ」と併せて、土地利用を向上させ、安定的な農業経営を図る。
- ・また、事業を契機に侵入防止柵や緩衝帯の設置など鳥獣被害防止対策に積極的に取り組み良好な農村環境の確立を目指す。
- ・ほ場整備を契機に田んぼダム対応型の排水樹を導入することで、田んぼダムの取組みを拡大し、農家一人一人が参加する地域防災力の強化を推進する。



芦北東部地区（吉尾工区）被災状況

### ばれいしょの試験栽培



### 鳥獣害被害防止



田んぼダム対応型排水樹

## 発災直後の状況及び発災後の取組み



### 【球磨焼酎酒蔵の復旧支援】

- 球磨焼酎組合27蔵元のうち、9蔵元の酒蔵に浸水被害
- 被害状況の現地調査や、商品の再現に必要な蔵付微生物収集調査及び酵母分離のための技術支援等を実施



### 【県南フードバレー加盟事業者支援】

- 協議会加盟の食関連事業者において、工場の浸水、設備損壊などの被害が発生
- 事業再建に向けて、全国の百貨店での販売会やECサイトでの復興支援キャンペーン等を実施

## これまでの取組み及び5年後の状況



### 【球磨焼酎の魅力発信と販路拡大】

- 500年の歴史と文化を誇る球磨焼酎の多様な魅力の発信による新たなファンの獲得
- 都市圏の百貨店や飲食店でのフェア開催や、国内外の展示会・コンペティションの出展による販路拡大



### 【県南フードバレー構想の着実な推進】

- アグリビジネスセンターを活用した高付加価値商品の開発支援
- 県南地域の農林水産物や加工品の販路拡大支援（商談会・イベント出展など）
- 企業の農業参入促進のためのハード・ソフト両面の支援及び市町村の受入体制の整備支援

## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

### ・「伝統的造り」のユネスコ無形文化遺産登録を契機とした球磨焼酎の海外展開強化

- 蔵元ヒストリーブランドブックの制作や焼酎蔵ツーリズムによる誘客促進など、インバウンド向けのプロモーションの展開を強化し、認知度向上を図る。
- 各蔵元ごとのターゲット市場・アプローチに応じて、商品開発や展示会出展、バイヤー招聘などに対する総合的な支援を行い、輸出の拡大を図る。

### ・くまもと県南フードバレー構想ステージ2の展開

- 専門家を招聘した商品開発研修会や、クルーズ船客向けのガストロノミーツアーにより食の高付加価値化と賑わいを創出する。
- 今後更なる成長が見込まれ地域をけん引していくことが期待できる事業者に対し、地域の関係者が連携して経営発展に向けた支援を実施する。



## 球磨川の流れを活かした新規小水力発電所の開発可能性調査

### これまでの取組み及び5年後の状況

- ① 令和3年度から新たに開発可能性調査を行い、**候補地点2か所(水上村1・山江村1)**を抽出
- ② 令和4年度から**砂防堰堤**を対象とした調査を行い、**候補地点2か所(山江村2)**を抽出
- ③ **令和5年度から**、上記の候補地点4か所を対象とした**流量調査を開始**
- ④ 市町村等が取り組む小水力発電施設整備等への技術支援について関係者へ周知



【 砂防堰堤の活用例 】

### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

- ① 引き続き流量調査を行い、結果を基に更なる絞り込みにより**令和8年度中の計画地点選定を見込む**
- ② 発電所に学びの場や観光資源としての一面を持たせ地域振興に寄与
- ③ 市町村や地域団体が取り組む小水力発電施設整備等への技術支援を実施(継続)

| 年度    | 取組内容          |
|-------|---------------|
| R5～R8 | 流量調査 ⇒ 計画地点選定 |
| R9～   | 計画地点の基本設計、測量等 |



(例) 発電所見学の様子



(例) 発電所カードの配布

## ～未来に夢を持てる地域を“共に創る”～

# 球磨川流域市町村の豊かな恵みを生かした魅力あふれる学校づくり

### 発災直後の状況及び発災後の取組み

持続可能な地域の実現に向けた、地方創生の核となる魅力ある学校づくりのため、以下の取組みに着手(R3～)

#### ○県立高校の学びの充実と特色化・魅力化

- ・県内の複数高校が連携した遠隔授業の開始(球磨中央高校)
- ・先端的技術を活用した探究活動等の充実(人吉高校)
- ・地域資源を活用した学びの充実(球磨工業高校)
- ・各高校の特色ある取組みの推進

《熊本スーパーハイスクール(KSH)構想》

#### ○ICT教育の推進

- ・企業と連携したICT教育の充実(教職員向け研修等)

#### ○防災教育・防災管理の充実

- ・学校、地域、市町村の防災関係部局等との連携・協働による、防災教育の充実
- ・「防災教育研究推進校」による防災に関する教育研究の推進  
※令和2～5年度推進校:人吉、球磨工業、球磨中央、南稜高校  
※令和6・7年度推進校:球磨村立球磨清流学園

### これまでの取組み及び5年後の状況

#### ○熊本版COREハイスクール・ネットワーク構想(球磨中央高校)

- ・遠隔授業の科目等の充実

#### ○創造的教育方法実践プログラム事業(人吉高校)

- ・地域課題の解決に向けた探究活動等の充実(VR等の活用)
- ・大学や研究機関、企業等との連携

#### ○地域資源とのコラボ推進事業(球磨工業高校)

- ・日本古来の建築技術等の専門教育の充実
- ・最先端の測量技術を用いた防災学習

#### ○山崎製パン(株)と共同で企画した、特産品の栗を使った「ランチパック」等の商品化(球磨中央高校)

#### ○球磨人吉地区の県立高校(普通・工業・商業・農業)が協働し、

#### 『和綿の里づくりプロジェクト』を実施

- (県立高校OneTeamプロジェクト)
- ・和綿の栽培を通じた和綿製品のPR、商品開発等を実施

#### ○アマモ場の再生に向けた取組み(芦北高校)

- ・KSH事業を活用して、ヘドロ化したアマモ場の再生にアマモ実生苗の栽培研究を実施

「ランチパック」等の商品化



和綿の里づくりプロジェクト  
における収穫体験



### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

#### ○県立高校の魅力化の推進

新たにあさぎり町と連携した南稜高校の魅力づくりを実現させるため、県立高校魅力づくりのための地域との協働体制(コンソーシアム)の構築に向けた取組みを実施。

#### ○キャリア教育の充実

- ・「高校生キャリアサポーター」と「しごとコーディネーター」を「くまもとキャリアサポーター」へ統合・増員。
- 就職支援に加え、地域と一体的な教育活動の推進に係るコーディネートの実施や、高校生が県内企業を知る機会をこれまで以上に創出。
- ・インターンシップをはじめ、企業見学や企業講話、企業技術者による授業や実習等をとおして、県内企業に対する理解を促進。知事部局と連携し、県内定着につなげる。
- ・熊本県版マイスター・ハイスクール事業(産業界と専門高校が連携し最先端の職業人材を育成する取組)を基軸とし、社会に開かれたキャリア教育を推進。

#### ○遠隔授業のさらなる充実

熊本版COREハイスクール・ネットワーク構想における配信科目、受信科目の拡大を新たに検討。

#### ○緑の流域治水に向けた取組みの推進

熊本県立大学等が参画する「くまもと雨庭パートナーシップ」における南稜高校の「雨庭」の取組や「田んぼダム」の研究等、流域治水の学びを取り入れた教育の実践。

～未来に夢を持てる地域を“共に創る”～

## 地域の賑わいと観光拠点の創出を目指す

【 県南広域本部 】

### 発災直後の状況及び発災後の取組み

- 県管理道路・河川等の被災  
→公共土木施設復旧工事の実施
- 八代市坂本支所等公共施設の被災  
→八代市へILO派遣  
保健師とともに避難所巡回
- 道の駅坂本の被災  
→令和3年6月「さかもと復興商店街」  
がオープン
- 湛水被害(平地)及び農地等災害(坂本)  
→団体営事業による復旧実施
- 森林被害  
→災害関連緊急治山の実施  
→危険木除去の実施



提供:朝日航洋(株)



### これまでの取組み及び5年後の状況

#### 被災施設の復旧関係

- 公共土木施設の災害箇所138箇所中137箇所の復旧完了  
→残り1箇所もR7.6まで完了の見込み。
- 創造的復興として油谷地区の宅地かさ上げ事業実施中
- 八代市坂本支所・コミュニティセンターが令和7年末までに再建予定
- 道の駅坂本→かさ上げ完了(国)、建物、多目的広場、駐車場の整備計画(八代市)、屋外トイレの設置及び駐車場の整備計画策定(県)
- 団体営農地等災害復旧事業は全て完了
- 治山事業73箇所中49箇所完成、危険木除去6箇所実施

#### 地域振興関係

- R5年度「さかもとふれあいフェスタ」の開催
- 地域づくり夢チャレンジ事業による地域団体の取組支援(肥薩線again、坂本町もりあげ隊)



### 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

- 坂本支所の令和7年末再建(予定)、道の駅坂本の令和9年度オープンに向け、坂本地区の地域の特性を生かした食文化や魅力を活かした復興マルシェやイベント等を行い、被災店舗の再興支援を行うなど、坂本支所、道の駅坂本及び周辺地域が新たな賑わいの拠点となるような取組みを地元と一体となって進める。  
併せて、球磨川・八代地区かわまちづくり協議会と連携して、水辺空間を活かしたアクティビティ等による観光振興に取り組み、交流人口の拡大を目指す。
- 国道219号の災害復旧やJR肥薩線の復旧後の交通利便性の大幅な向上を見据え、若者の地元定着や外部人材の呼び込みを支援するための就職フェアや移住定住の促進に取り組むとともに、地域団体等と連携し肥薩線沿線の魅力を磨き上げ、球磨川流域の広域的な観光振興に取り組む。
- 次の発災に備え、行政、医療、福祉関係職員が参加する被災者(特に災害弱者)支援に関する研修を実施し、連携体制を強化する。



写真:第9回球磨川・八代地区(新萩原橋周辺・坂本)かわまちづくり協議会資料より

～未来に夢を持てる地域を“共に創る”～

# 全国に発信する芦北地域の創造的復興

【 芦北地域振興局 】

## 発災直後の状況及び発災後の取組み

### 【社会インフラ関係】

○芦北町を中心に、道路路面の崩壊や路肩決壊等が発生し、国道道合わせて25箇所が全面通行止めとなり、孤立集落も多数発生

→ **全面通行止めの解消、災害応急対策**

### 【農林水産関係】

○農業関係では、浸水や土砂流入による農作物・農地・農業用施設の被害、農舎等の損壊が発生

○林業関係では、山地崩壊や林道の法面崩壊が発生

○水産関係では、養殖施設の損傷、漁港等への流木の漂着等が発生

→ **農地の復旧と圃場整備の一体的な取組み、林道・治山施設の復旧、流木等の処理**

### 【商工関係】

○多くの店舗や事業所が被災し、営業休止等が発生

○多くの企業で工場や製造設備の破損等が確認

→ **なりわい再建支援補助金等による事業再建**

吉尾川災害関連事業



芦北東部地区（吉尾工区）



芦北町役場周辺の状況



## これまでの取組み及び5年後の状況

### 【社会インフラ関係】

○災害復旧事業については、**全て完了**

○甚大な被害が発生した佐敷川水系・吉尾川について、**安全安心確保のために改良復旧を実施**

→ **吉尾川災害関連事業完了**

### 【農林水産関係】

○農地・農業用施設の復旧は完了。水田裏作として**加工用バレイショの実証栽培**を実施

○治山施設の整備等、**安全安心な森林づくりの推進**

○カキ類の生産安定化等**稼げる水産業の実現の支援**

○増加する鳥獣被害対策として、**侵入防止柵の拡大と捕獲罠の強化**

### 【商工関係】

○**サテライトオフィスへの誘致**やワーケーション活用の促進

○水産物ブランド化や**新商品開発・販路開拓支援**

○人材確保・育成事業として、**地元高校生と企業のつながりを創出**する企業説明会等を実施

吉尾川災害関連事業



加工用バレイショ実証状況



芦北サテライトオフィス計画



## 復興への新たなスタートに向けた取組み・アイデア等

### 【社会インフラ関係】

○吉尾川において、**日本初の取り組み**となる**地域住民参加型**の「**休耕田を活用した河川の拡幅による治水対策**」と「**多自然川づくり**」を組み合わせた事業を実施

○全国のモデルとなる本事業を活かした**流域治水スタディツアー**の実施と共に、緑の流域治水の取組みを全国に発信

→ **地域の愛着と誇りを醸成し、交流人口の増加等、地域活力を創出**



### 【農林水産関係】

○水田裏作のバレイショ生産において、**標高差を活用したリレー出荷及び収穫機械等の共同利用の推進**

→ **農業所得の増加、加工用バレイショの産地化**



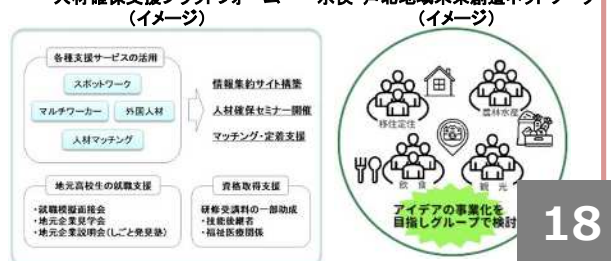
### 【商工関係】

○国の支援制度や民間のサービスを組み合わせた「**人材確保支援プラットフォーム**」を構築

→ **労働力不足の解消・雇用機会の創出**

○地域で活躍する企業や人材と地域の未来について考える「**未来創造ネットワーク**」を構築

→ **地域の主体的なアイデアを事業化**



～未来に夢を持てる地域を“共に創る”～

【球磨地域振興局】

## 広域連携による人吉球磨地域の課題解決に向けた取り組み

### 発災直後の状況及び発災後の取り組み



令和2年7月豪雨により、住宅や生活・交通インフラ・農地・森林等に甚大な被害が発生



加えて、宿泊・観光施設や事業者への影響も大きく、観光客数や事業者の売上げが大幅に減少

### これまでの取り組み及び5年後の状況

令和2年7月豪雨からの復旧・復興は、着実に進んでいるが、県平均を上回る人口減少・高齢化の急速な進行により地域経済が縮小

- ・人口減少・人手不足の深刻化、高齢化の進行  
(R1:84千人,R6:75千人(▲9.8% 県平均▲2.9%) 高齢化率41.2%(R6.10))
- ・経営者の高齢化の進行と後継者の不在  
(県商工会連合会 会員調査(R4.9) 65歳以上かつ後継者不在 24.7%)
- ・他地域と比べて低迷する新規高卒者の管内就職率  
(R7.3新規高卒就職者の管内就職率 22.7%(R7.4末時点))
- ・宿泊客数等の回復の遅れ  
(管内宿泊客数 H30:305千人,R5:275千人(▲9.8% 県全体4.3%増加))

### 復興への新たなスタートに向けた取り組み・アイデア等

人吉球磨管内は、**最多10市町村が存在し、財政基盤の脆弱な小規模自治体が多い**。本管内では、令和2年7豪雨災害からの創造的復興として、JR肥薩線復興アクションプランや、令和8年度のくま川鉄道の全線開通、球磨川リバーミュージアム構想の推進、日本遺産への認定更新など、**国や県の様々な重要な施策がそれぞれ展開**されていることから、これらの**施策を有機的に連携させ、広域的に効率的かつ着実に進めていくことが必要**

当局では、県地域おこし協力隊を核に、市町村に加え、人吉球磨観光地域づくり協議会などの**中間支援組織と連携**して、地域課題の解決に取り組む。これにより、**大規模災害後の新たな復興支援スキームの構築**を目指す

事業の承継や成長に向けた人材の確保

移住定住の推進等(人吉球磨版の「地域の人事部」)

地域経済の維持・発展に向けた事業承継の推進

日本遺産への認定更新への支援

人吉球磨地域の再生・発展に向けた観光振興

財源確保に向けたふるさと納税制度の活用

雇用の場の確保に向けた企業誘致活動の展開

水平補完や垂直補完できる業務の可能性検討

### 人吉球磨・農業未来プロジェクト

農業担い手に対し、フィリップモリスジャパン合同会社の出資のもと、(一社)RCF等と連携し、地域の課題を踏まえた支援を実施中

<主な取り組み> (R5.6～)

#### 1 ネットワーク形成支援

- 若手農家を中心とした勉強会・交流会を開催、4回延べ123名参加



#### 2 人材支援

- スポットワーク「タイミー」により9農家が述べ51名の労働力を確保



#### 3 生産性向上支援

- トレイルカメラ利用による鳥獣害対策 等

#### 4 ブランディング支援

- 産直アプリ「ポケットマルシェ」による販路開拓

<今後の取り組み>

- 成果を横展開
- 農業版「地域の人事部」立ち上げ

## 令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（前回：第16回） 資料

令和7年3月19日開催

- 「緑の流域治水」の推進による1日も早い安全・安心の実現に向けた取組み
- 地域における“最後のお一人まで寄り添う”取組み
- 未来に夢を持てる地域を“共に創る”取組み

# 「『緑の流域治水』の推進による1日も早い安全・安心の実現」に向けた取り組み

参考

前回資料(R7.3.19開催)

## 【「緑の流域治水」の推進】

### ○「流域治水プロジェクト」「河川整備計画」の推進・情報発信

|            | 現在                        | 完了時期              |
|------------|---------------------------|-------------------|
| 県管理河川施設の復旧 | 377/394箇所完了<br>(R7.3末見込み) | <b>R8年度中完了見込み</b> |
| 砂防施設の復旧・整備 | 260/277箇所完了<br>(R7.3末見込み) | <b>R8年度中完了見込み</b> |
| 治山施設の復旧・整備 | 113/172箇所完了<br>(R7.3末見込み) | <b>R9年度末完了見込み</b> |



- ・流水型ダムについて、**R9年度**ダム本体基礎掘削工事着手、**R17年度**の完成を目標に整備推進



- ・川辺川の県管理区間の河川整備について、**R17年度**の流水型ダム完成までを目指し、**集中的に取り組む**

### ○防災・減災力の強化

- ・「球磨川リバーミュージアム構想」による地域連携・防災力強化・環境教育のフィールドを創造

## 【災害に強い社会インフラ整備】

### ○国道219号等、球磨川に架かる橋梁の早期復旧

|            | 現在 (R7.3末見込み)               | 完了時期              |
|------------|-----------------------------|-------------------|
| 国道219号等の復旧 | 本復旧工事推進中<br>※一部区間でかさ上げ工事推進中 | <b>早期完了</b> に向け推進 |
| 県南地域道路復旧   | 882/938箇所完了                 |                   |
| 橋梁の復旧      | 残る8橋の復旧工事推進中 (2/10橋完成)      |                   |



### ○道路のリダンダンシー確保



### ○JR肥薩線・くま川鉄道の早期復旧

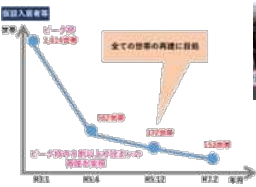
- ・JR肥薩線(八代～人吉間)の鉄道復旧について、JR九州と最終合意予定
- ・球磨川第四橋梁上部工に着手するなど、くま川鉄道全線運転再開に向けて復旧工事推進中



## 【すまい・コミュニティの創造】

### ○安全・安心な住まいの確保となりわいの再建

|                        | 現在 (R7.3末見込み)                          | 完了時期               |
|------------------------|----------------------------------------|--------------------|
| 応急仮設住宅等入居者数            | 152世帯256人 (R7.2末時点)                    | 最後のお一人まで寄り添った支援を継続 |
| 災害公営住宅等整備              | 完成: 11地区272戸<br>工事中: 1地区10戸 計12地区282戸  | <b>R7年度中完了見込み</b>  |
| なりわい再建支援補助金による施設・設備の復旧 | 復旧率: 98.6%<br>(決定 511件・完了 504件)        | <b>早期完了</b> に向け実施  |
| 農林水産基盤の復旧              | 農地・農業用施設 818/866箇所完了<br>林道 347/473箇所完了 | <b>R10年度末完了見込み</b> |



### ○ふるさとの魅力あふれるまちづくりとコミュニティの形成

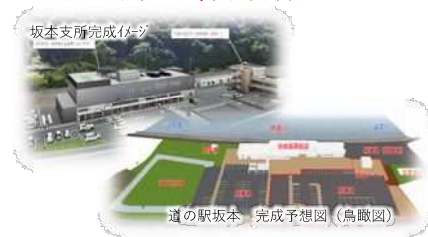
- ・人吉市青井地区・紺屋町土地区画整理事業⇒**R10年度末完了見込み**
- ・国道445号改築事業⇒**R13年度末完了見込み**



### ・球磨村におけるまちづくりの取組み



- ・坂本支所⇒**R7年度末**完成見込み
- ・道の駅坂本⇒**R9年**供用開始見込み



### ・相良村における川辺川を活かした拠点づくり



# ～地域における“最後のお一人まで寄り添う”取組み～

参考  
前回資料(R7.3.19開催)

## 生活再建に向けた支援

- ・「住まい」や「なりわい」について、最後のお一人が再建を果たされるまで、**お一人お一人に寄り添った伴走型支援**を継続。
- ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりに向け、**生活に必要な不可欠な医療提供体制の維持・確保**を推進。

### ◆「さかもと復興商店街」入居事業者の事業継続に向けた取組み

八代市において、「さかもと復興商店街」（R7年2月に解散）に入居していた事業者の方々と定期的に意見交換を行っており、事業者が出店できるイベントの情報提供など、**事業継続に向けた機会創出等の支援を継続**。

### ◆まちづくりと連携した事業再建支援

人吉市では、「人吉市復興まちづくりデザイン会議」の取組みの中で、商工会議所とも連携し、**創業や新規参入、事業継続支援**を検討。

八代市坂本町では、国、県、市が連携して取り組む「坂本地区かわまちづくり」において、観光・川遊び拠点施設を整備することを予定。**まちづくりと連携した事業者支援**についても具体策を検討。

球磨村・芦北町では、被災された事業者や宅地嵩上げ等公共工事の影響を受ける事業者の**休業・再開など、経営スケジュールを見据えて寄り添った支援**を実施。

### ◆「なりわい再建支援補助金」の継続

公共事業の影響等でやむを得ず申請が遅れる事業者等、**すべての被災事業者の再建が完了するまで、必要な予算を確保するよう国に要望**するとともに、**県でも予算を確保し**、最後までなりわいの再建を支援。



坂本地区かわまちづくり実行委員会の様子



再建した一宮士旅館（人吉市）

### ◆住まいの再建

**最後のお一人が住まいの再建を果たされるまで寄り添った支援を継続**するとともに、**住まいの再建後も必要な見守りやコミュニティ形成支援を継続**。

災害公営住宅については、八代市坂本町の（仮称）松崎団地の完成をもってすべての整備が完了予定。



住まいの再建後も交流できる場を継続

### ◆地域に必要な医療提供体制の維持・確保

球磨村では「球磨村診療所」の継続、無医地区となっていた八代市坂本町では坂本支所内に「八代市立坂本診療所（仮称）」が開設予定など、地域に必要な医療提供体制の維持・確保に向けて取り組んでいる。



災害公営住宅（仮称）松崎団地（八代市）R7.12完成予定



球磨村診療所



坂本支所（R7.12完成予定）内に診療所開設予定

## きめ細かな情報発信

- ・住民の方が地元での暮らしの見通しを立てられ、**生活再建に向けた支えとなるような、きめ細かな情報発信**を実施。
- ・地域にお住まいの住民の方だけでなく、住民に寄り添う関係団体や域外に転出された方々など、**複層的な情報伝達**を推進。

### ◆八代市坂本地域住民への情報共有に向けた取組み

国、県、市が連携して進めている国道219号の嵩上げや宅地嵩上げ・輪中堤等の復旧・復興工事、各工事に伴う交通規制等の情報（今後の予定も含む）を県で取りまとめ、広報誌に折り込むことで、**坂本地域全世帯に情報発信**を行う（R7年4月から、2カ月に1回程度を予定）。



国・県・市情報共有会議（R7.3.11）



復興情報チラシ案（イメージ）

### ◆「地域支え合いセンター」出前講座の実施

**被災された方々に寄り添われている地域支え合いセンター職員向け**に出前講座を実施し、「緑の流域治水」の取組みや、**住民の関心が高い復旧工事の進捗状況等**について丁寧に説明。



八代市地域支え合いセンター



球磨村地域支え合いセンター

### ◆域外へ転出された方々ともつながりを保つ取組み

県の復興基金を活用し、**市町村外へ転出された方々への広報誌等の情報提供**など、転出者ともつながりを保つ取組みを実施。

# ～未来に夢を持てる地域を“共に創る”取り組み～

参考  
前回資料(R7.3.19開催)

- ・「産業振興」では、八代への新たな県営工業団地の整備をはじめ、**県南地域の産業活性化や雇用の創出を促進。**
- ・「人づくり」では、広域的な課題解決に取り組む**広域連携体制の構築・強化など、地域が抱える共通課題にしっかり対応。**
- ・地域と共に「**産業振興**」と「**人づくり**」に向けた取り組みを重点的に推進し、「**人口定着**」に向けた**好循環の創出・加速**を目指す。

## ★球磨川と鉄道の2つのラインを活かした県南地域ならではの観光振興モデルの創出

R7年度策定予定の「球磨川リバーミュージアム構想」を旗印とした球磨川流域ならではの「防災×観光復興」の取組み発信、R8年度上半期中に全線運転再開予定のくま川鉄道や「SL人吉」を活用した賑わいづくり、アニメ「夏目友人帳」など**地域ゆかりのコンテンツ**を活用した**誘客・周遊の促進**等に取り組む。



球磨川リバーミュージアム構想（イメージ）



SL人吉トロッポの様子



『夏目友人帳』のデジタルスクリーン



## ★人吉・球磨地域の広域的な課題解決・人づくりに向けた取組み

人吉・球磨地域に、県による地域おこし協力隊をR7年度から5名配置し、人材確保、産業・観光振興などの**広域的な課題解決**に取り組みながら、**地域の核となる人材育成**につながる**仕組みづくり**を目指す。

## <地域の再生・発展に向けた広域的な取組みの実施体制>



## ★八代に新たな県営工業団地の整備

県南地域にも**新たな企業進出の受け皿となる工業団地を整備（R10年度分譲開始予定）**。八代地域のポテンシャルを活かした食品関連企業、半導体関連企業など、**地元の雇用確保や地域の活力につながる企業を積極的に誘致する。**



八代市に整備予定の県営工業団地イメージ

## ★県南地域への企業誘致促進

市町村が主体的に関わり、企業が連携して行う企業PR、職場環境の改善等の取組みへの支援や、高校生等の職場体験研修を実施するなど、**企業の人材確保や若者の地元定着を図る。**

また、**農業分野**において、市町村と企業等との交流会の開催など、**県南地域への企業参入を加速する。**



IT関連企業の現地視察（R7.3.3 相良村）

## ★事業承継等に関する広域的な連携協定

人吉・球磨の10市町村や、商工団体、主要産業である農林畜産業団体、金融機関などが**R7年3月に事業承継に関する連携協定を締結**。地域・分野共に広範囲の団体がそれぞれの強みと経験を活かし、相互に連携・協力しながら、**事業承継に関する課題解決を目指す。**



連携協定締結式（R7.3.3）

## ★くまもと林業大学校県南校の機能拡充と持続可能な林業振興の促進

林業大学校県南校の機能拡充に向けた基本構想をR7年度に策定し、より多くの**人材育成確保**と林業大学校を核とした**産業振興**を推進。また、五木村内の県有林等をフィールドに**先進的な林業施策の導入・実証**等を行い、横展開・普及を図ることで、豊富な森林資源をフル活用した**持続可能な林業振興の促進**につなげる。



くまもと林業大学校県南校の拠点施設「林志館」

架線集材の研修状況